

Skip UP!

2013年10月25日

発行責任者 森川 学

NO. 12

編集責任者 情 宣 部

2013年度 第2回年末手当交渉報告

鉄道事業収入は前年度を上回っている!!台風や大雨の中でも安全輸送に奮闘した青年部員に報いよ!!

本部は、本日13時30分より第2回年末手当交渉を行ないました。今回は会社から収入動向について説明を受けました。

会社

①上半期について

- ・大型台風の上陸や大雨の影響を受けた。・北海道での脱線事故で高速貨1012本、専貨12本が運休した。
- ・コンテナ輸送量は前年度を上回り、前年比101.7%となった。車扱も101.9%となった。
- ・営業施姿勢として、これまで原価意識が希薄であったことと、積載率向上を意思した営業が出来てこなかった。
- ・【関連事業収入】は、アイガーデンタワーやエフ・プラザ等の賃料減少、茅ヶ崎社宅開発の中止で厳しい状況にある。
- ・「戦略的価格提示施策」を行い、値段の引き下げや通運会社に対するインセンティブの付与を行い、積載率の向上を目指す。

②下半期、平成26年度について

- ・積載率向上を阻害する要因（直前キャンセル・中継、輸送制限等）を除去する取り組みを行う。
- ・平成26年度は本社・支社で収支改善を行い、228億円の達成に向けて取り組んでいく。

組合

- ①事業計画について、会社は『固めの計画』と言ったではないか。収入計画を達成し責任を果たせ!!
- ②自然災害の中でも貨物輸送の安全、安定を守ったのは組合員だ。会社は組合員の苦勞に報いろ!!
- ③会社は今年度末の経常利益を18億円としており支払い能力はある。負のスパイラルを断ち切る回答を示せ!!

会社

組合の指摘に対して

- ①下期は、商品力を高めるための戦略を打ち出し収益を上げていく。
- ②組合の指摘は受け止める。収支を改善し計画目標の1140億円の達成に向けて取り組んでいく。

【次回、第3回交渉は10月28日（月）です】

**自然災害のせいにした言い訳はもうたくさんだ!!魅力ある会社にするのは経営陣の思いと覚悟なんだよ!!
これ以上青年部員の未来への希望を裏切り、モチベーションを下げるのは絶対許さない!!**